

ふるさと心を整える

1. 教育を考える一言

「教師を目指す人間ならばもっと日本のことを知れい！」

～居酒屋八ちゃん店主 安部富久蔵～

2. 背景

安部さんがこの言葉を発したのは、バイト中に安部さんが「俺は戦艦大和を見たことがある」という話を私に吹きかけ、それに対して私が「僕も最近映画で見ましたよ」という返答をしたことがきっかけとなります。安部さんの言う大和とは戦争時日本海軍が建造した史上最大の戦艦の1番艦の戦艦大和のことであり、私の言うヤマトとは当時人気のあった木村拓哉主演の映画「SPACE BATTLESHIP ヤマト」(2010)に出てくる宇宙戦艦ヤマトのことでした。実際この話を聞くまで戦艦大和のことは知らず、安部さんに上記の言葉で一喝された後、戦争の話がたくさんしていただきました。

3. 考察

この言葉を聞いたとき、一番感じたことは「日本人として日本のことはもちろん、もし地元秋田県で教師をするなら秋田県のことをもっと知らなければならない」ということです。そしてそのことを様々な方法で子供たちに伝えるのが、教師の一つの役割だと私は思います。様々な方法とは、今回のように実体験した方からの体験談を同じように子供たちに伝えたり、日本や郷土の伝統文化に実際に触れさせたりすることです。また中央教育審議会答申(2008)では、「世界に貢献するものとして自らの国や郷土の伝統や文化についての理解を深め、尊重する態度を身に付けてこそ、グローバル化社会の中で、自分とは異なる文化や歴史に敬意を払い、これらに立脚する人々と共存することができる。」とあり、子どもたちが今の世の中を生き抜くためには日本、郷土といったふるさとを思う心の育成が大切であることがわかります。そこから生まれるふるさと（広くとらえれば日本、狭くとらえれば郷土）への自覚と誇りが、国際社会を主体的、創造的に生き抜くたくましい力の基礎になると思います。ここでいうふるさとを思う心とは、具体的には、「ふるさとの自然や風土を愛する心」、「ふるさとの歴史や伝統、文化を正しく受け継ぐ心」、「うるおいと活力に満ちたふるさとづくりに積極的にかかわる心」と考えます。もう一回言いますが、このようなふるさとを思う心子供たちに伝えるのは、教師の一つの役割です。そのために教師自身がその心を持つことは当たり前のことだと思います。

皆さんは日本に誇りを持っていますか？自分の郷土に愛着がありますか？これから教師として赴任する地域の伝統、文化に積極的にかかわれますか？ふるさとを思う心は整っていますか？私自身、郷土である秋田県の知識はまだまだ未熟ですが、秋田県への強い思いは誰にも負けないです。秋田県の子供たちには秋田の素晴らしさをすべて伝えたいと思っています。「ふるさと心を整える。」とても大事なことだと思います。